

# 山形県上山市：2050年ゼロカーボンシティ実現に向けた脱炭素化による持続可能なまちづくり



## 事業計画の特徴

- 市において重要な観光資源である温泉を地域エネルギー資源と捉え、**温泉旅館における温泉熱を給湯の熱源補助として活用するほか、温泉街の規模の大きな旅館全てへの太陽光発電設備導入に加え、省エネ設備改修、送迎EVバス導入**などを実施することで温泉旅館の持続的な経営に結びつける。また、旅館利用客や同種事業者への積極的なPR、熱利用のモデル事業として他自治体へ取組を共有する地域間連携などにより、類似事例の取組拡大につなげる。
- 個人向けに太陽光と蓄電池の補助を実施するほか、若年層の移住・定住促進に向け、駅周辺エリアをSDGsの理念を取り入れた脱炭素なまちとして**ZEHを主にしたモデル街区とし、(仮称) 駅東パークタウンや立地適正化計画における居住誘導区域内などエリアによって上乘せ補助を実施**するほか広報等でPRを行う。

※2030年までに公共・公用施設の電力消費に伴うCO2排出を実質ゼロとする。

事業計画の概要（民間）		再エネ：1,507kW
取組（個人）	規模	
ZEH化補助	• 10件	
ZEH+化補助	• 55件	
太陽光発電設備の導入	• 65件 • 325kW	
蓄電池の導入	• 65件 • 390kWh	
取組（事業者）	規模	
太陽光発電設備の導入	• 10件 • 157kW	
ソーラーカーポートの導入	• 3件 • 225kW	
熱利用設備の導入	• 12件	
太陽光発電設備の導入	• 10件 • 800kW	
高効率空調設備の導入	• 4件	
高効率給湯設備の導入	• 4件	
EVバスの導入	• 2台	
事業計画の概要（公共）		再エネ：559kW
取組	規模	
庁舎等への太陽光発電設備の導入	• 10件 • 355kW	
庁舎等への蓄電池の導入	• 8件 • 180kWh	
庁舎及び給食センター敷地への太陽光発電設備の導入	• 2件 • 204kW	

## 事業計画の効果・費用

再エネ導入	CO2削減	事業費	交付金額	計画期間
2,066kW	26,341 t-CO2	12.5億円	6.8億円	令和7年度 ～ 令和12年度

## 取組のイメージ

上山市における脱炭素に向けた取組事業イメージ

**ZEH普及促進事業**

- ZEH受託普及促進により、環境に配慮したまちとしてのモデルエリアを創出

**温泉旅館における太陽光発電設備導入・温泉熱活用・省エネ設備回収・EVバス導入事業**

- 再エネ熱である温泉熱を活用した給湯の予熱を行う省エネ設備の導入をはじめとする各種取組により、温泉街の脱炭素化実現

**公共施設等での太陽光発電設備導入事業**

- リース及びPPA方式での導入により、公共施設・公共用地において再エネ導入推進。